

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『学校給食調理コンクール』で『教育長賞』を受賞！



藤沢小学校 栄養教諭  
茂木美佐子さん

給食で子ども達の  
成長に寄り添う

昨年の11月9日、藤沢小学校では児童たちが『栄一のラポール給食』を味わいました。この献立は栄養教諭である茂木美佐子さんが考案し、『令和3年度学校給食調理コンクール』で、『埼玉県・さいたま市教育委員会教育長賞』を受賞したものです。

茂木さんに受賞した感想を伺うと、「正直、ほっとしました。深谷市からは、2年連続でこのコンクールの受賞者が出たのでプレッシャーもありました。その先輩方のアドバイスや、藤沢小学校の児童と先生の感想を参考に考案したので、受賞できて本当に良かったです。」と、周囲への感謝とともに、各校で活躍する栄養教諭の皆さんの強い絆を感じられるエピソードが聞けました。



栄一のラポール給食 献立  
ヌイユ・ラトウイユ (パスタ)、マスタードチキンフリット、シルクサラダ、深谷レンガパンケーキ、牛乳

▲受賞した『ラポール給食』、賞状、トロフィー、『ラポール』とはフランス語で『架け橋』の意味。渋沢栄一翁がつないだフランス、深谷、富岡にちなんだ食材や調理法を取り入れています。

また、『自校式給食』だと給食を校内で作っているの、子ども達が『今日はたくさん食べられたよ！』と話してくれるなど、より親身に給食指導ができます。さらに、地元の特産物で献立に特徴を出しやすいことも、深谷の給食の強みですね。」と、深谷市の自校式給食の魅力についても話してくれました。

茂木さんには、給食を通して子ども達に伝えたいことが、まだまだたくさんあります。『毎日、時間通りに、衛生的に、給食が教室に届くまでには、多く人の関わりがあるんだよ。』という、普段『食べられて当たり前』と思われがちな給食の、別の側面も伝えていきたいです。」と、その情熱は今日も、子ども達の給食に注がれています。

# L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち 深谷市  
個人権政策課 ☎ 574 - 6643

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

## 事業所に『男女共同参画推進員』を設置しませんか？

深谷市では、市内事業所における男女共同参画を推進するため、各事業所に『男女共同参画推進員』の設置を奨励しており、現在99の事業所（令和4年1月1日時点）が『男女共同参画推進員』を設置しています。『男女共同参画推進員』には、市や県が行っている『女性活躍やワーク・ライフ・バランスに関するセミナー』のお知らせなど男女共同参画に関する情報が提供され、これを基に事業所内における啓発活動をしています。

## 『深谷市女性活躍等推進事業所認証制度』を推進しています

女性の活躍や男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けており、現在8事業所（令和4年1月1日時点）を認証しています。認証事業所になると、広告や名刺などに、認証事業所であることや、認証事業所のシンボルマークを表示でき、事業所のイメージアップにつながり、安定した雇用継続や優秀な人材の確保などの効果が期待できます。



- 深谷赤十字病院
- たつみ印刷株式会社
- パーカーアサヒ株式会社
- 三菱電機ホーム機器株式会社
- KYB株式会社熊谷工場
- 古郡ホーム株式会社
- 医療法人好文会
- 社会福祉法人邑元会あかつき

市ではこれらの事業所を広報やホームページで周知するなど支援を行っています。興味がある事業所は、ぜひ問い合わせ先までご連絡ください。

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

# ふっか 散歩



103 鹿島古墳群

今年の川本地区は『畠山重忠公』で大注目を浴びているけど、他にも注目スポットがあるんだよ！今回はその1つ、鹿島古墳群に遊びに来たよ～。

ここは約1400年前に造られた古墳がたくさんあるんだって。そんな昔から、ここに暮らす人々がいたんだねえ。



◀ふっかちゃんが遊びに行った時はロウバイの黄色い花がたくさん咲いていて、とってもいい香りだったよ！春には桜と菜の花が満開になるんだよ。歴史もお花も楽しめるなんて素敵なお散歩スポットだねえ！



◀▲小さなお山に見えるのが、ぜんぶ古墳！この地を治めていた豪族のお墓で1kmにわたる広～い敷地に、56基も円墳があるんだって。埼玉県指定史跡になっているよ。

## ふっかちゃんのつぶやき

卒業おめでとう！いろんな困難を乗り越えてきたみんななら、きっと明るい未来を切りひらいてくれるはずだよ！  
Y(o)u(oo)Y



# 心の広場

上柴東小学校6年  
新井 美優さん



## 社会を変えて

私は、両親、祖父母と一しょに暮らしています。私の住んでいる地区には、若い人は少なくお年寄りが多いため、いつも身近にお年寄りがいるという環境で育ってきました。交流会などでお年寄りの方が中心となって、いろいろな所で支えられているので、優しい、たよりにするという印象がお年寄りにありました。

そんな中、学校の授業で高れい者に対する人権侵害が存在しているということを知りました。どのような事例があるのか気になり、インターネットで調べてみました。高れい者の人権侵害は、社会福祉施設等に多く発生していて平成29年の発生例は142件にのぼり、前年は114件で一年間だけで何十件も増加していることが分かりました。なぜこのような人権侵害が起こるのかと思いついてみると、介護などを行っている方が精神的に追い詰められて、行ってしまうというケースが多い様です。ひど

いものだと性的、身体的・心理的・経済的虐待やネグレクトという介護ほうきもあります。仕事や家の都合で介護が大変になり、家でみるには危険もあるので、高れい者の安全と健康のために施設を利用しているのに、その施設で虐待が起こっているのはひどいし、かわいそうだと思います。私の母は介護施設で働いているので介護している側、される側の話を聞くことがあります。中には、家族にめいわくをかけたたく自分から希望して介護施設に入る人もいます。しかしこのような命や安心を預かる所で虐待などが起きてしまうと介護施設にお年寄りを入れたい人達が心配で入れられないし、本当にひどい事が起きていることにびっくりしました。

現代、お年寄りがたくさんいる中で住みやすい社会をつかっていくことが私達がやらなくてはいけない仕事なのではないでしょうか。私は、今回お年寄りに対する考え方が変わりお年寄りにも悩みがあり、相談に乗ることがお年寄りにとっては楽になるということがわかりました。

私は、お年寄りと一緒に暮らせることを本当にうれしく思います。お年寄りや障害者の方々すべての人への人権侵害をなくすには人々の交流が大事だと思います。身の周りのお年寄りの方達とたくさんお話したり、私がお年寄りの気持ちに気づけるようにしていきたいです。